

入善町 議会だより

9月定例議会

№. 67号

発行所 入善町議会

編集 入善町議会だより編集委員会

富山県下新川郡入善町入膳3,255

☎ 0765 (72) 1100



世界の平和を願う

非核平和都市モニュメント

8月6日除幕

飯野出身の名取川雅司さんが制作した「小犬と少女」

▶ **一般会計予算2億2,310万円を追加**

運動公園山側に駐車場

▶ **消費税廃止の請願は不採択**

第2・4土曜日は閉庁!



水キラキラ 町いきいき 入善



第27回定例議会：本会議の風景（議場）

運動公園山側に駐車場

舟見山自然公園にも造成

任期最後の定例議会となる第二十七回入善町議会定例会は、九月七日から十四日までの八日間の会期で開催され、平成元年度一般会計補正予算など議案三件、請願四件、同意案一件などについて審議されました。

※平成元年度一般会計補正予算
二億二千三百十万円を追加し、
予算総額を七十五億四千九百六十一
万七千円とした。

今回の補正は、国県補助事業の決定によるもののほか、ふるさと創生事業の積み残し分二千万円と入善小学校建設事業の外構工事変更に伴う継続費の補正を柱とするもので、その財源としては地方交付税で四千二百三十万円、国県支出金七千八百三十三万円、繰越金で一億五百七十一万円などがあてられている。

追加補正された主なもの

- ★農村基盤総合整備事業 三千二百六十九万円
補水渠、水路、消雪工事などを行うもの
- ★肉用牛生産条件整備事業補助金 二千六百十四万円
牛舎三棟の建設に補助をする
- ★入善小学校建設事業費 二百百万円
外構工事の変更に伴う増額
- ★県単水路等整備事業費 一千七百二十三万円
農業用水を利用して路面消雪
- ★運動公園駐車場整備事業費 一千四百三十万円

山側道路沿いに百五十分造成
舟見山自然公園整備事業費 一千五百万円

三十台分の駐車場造成と新左
近橋までの道路拡幅

第二・四土曜は閉庁

※休日を定める条例の制定
土曜閉庁導入に伴う地方自治法の改正によって、地方自治体の休日は条例で定めることとされたためのもので、入善町も国や県に準じて、毎月の第二・四土曜を十月から閉庁することとした。
保育所や社会教育施設は今までどおり行う。



▲これからの開発に期待（舟見山）

※議員の勤務時間に関する条例の一部改正
土曜閉庁の導入に伴って、条例の整備をするもの。
※工事請負契約の一部変更
入善漁港海岸を保全する離岸堤工事促進のため、異形ブロック五個、フトンカゴ五枚の制作、据付を増加する。
契約金 三千四百二十九万九千円を三千六百九万四千二百九十円に変更する。

契約相手 株式会社 飯作組

請願の審査結果

- ・県営土地改良総合整備事業（上原地区）の新規採択について（採択）
- ・「消費税法」の即時廃止を求める意見書採択について（不採択）
- ・同 右（不採択）
- ・ふれあい温泉の施設、設備の充実を求める請願（継続審査）

決算特別委員会 審査報告

アイデア競争の時代

全職員の知恵結集を

委員長
佐藤学英

八月八日の臨時議会で付託された昭和六十三年度入善町歳入歳出決算の認定について、慎重に審査をした結果、議会の議決の主旨に沿った適正な執行と認め、全員一致で認定すべきものと決した。

税収入は26億円

昭和六十三年度は、懸案だった入善小学校建設事業の着工を始め中央通り線改良事業の着手、屋内ゲートボール場の建設、道路網の整備促進などに取り組み、一般会計歳出決算額は前年比七・四割、四億五千八百万円の増額となっている。中でも投資的経費は二十七・四割もの大きな伸びとなり、その積極的な姿勢を評価する。歳入は前年比五億二千万円、七

・九五割の伸びとなったが、このうちの半分は地方交付税であり、経済の好況を反映して所得税、法人税が大幅に増収となったためのものである。

また町税収入は三十六億四千七百円、全収入の三七・四割を占めており、自主財源の根幹をなしている。徴収率は九十九・六割で滞納も減っており、町民のみなさんの理解と協力に感謝したい。

職員研修

昨年の決算特別委員会でも指摘された職員研修の強化について、いろんな角度から研修会がもたらされており、評価をしたい。

ふるさと創生に見られるようにこれからは市町村の知恵くらべの時代であり、職員の能力が問われ

る時代である。人それぞれの個性を伸ばし、町の将来を見据えた先見性を身につけ、判断力を養成することが大切である。

また、研修を受けた職員や、町活性化のためのアイデアを出した人を抜き、やる気を起こさせることも重要な仕事である。

職員の定数管理

職員定数は三百三十四人で実人員は三百三十一人、それ以外に臨時、パート職員が百人雇用されている。

五年以上の長期に亘る者も多数おられ、人情もからんでくるとは思うが、職員の採用には全町民が注目しており、厳正な試験によるべきである。

また、住民何人ぐらいに一人の職員が必要なのか、民間有識者による専門的な委員会を設置し、職員定数の問題を検討してもらうべきでないか。

▼高齢化社会への対応
厚生省は、平成元年度を在宅福祉元年と位置づけ、家庭奉仕員の増員、在宅老人デイサービス、短期保護事業の大幅充実に予算に盛り込んでおり、町でも十月から通所デイホーム事業が開始されたが、PRが足りないのではないかと。せっかくの福祉政策を無にしないよう配慮してほしい。

▼農業政策
ふれあい温泉は大好評で、休憩室や食事サービス、巡回バスの要望が強い。今後の施設整備計画について十分な検討を要望する。

農業を取りまく環境は、農産物の輸入自由化、転作面積の拡大、米価の連続引下げ、就労者の高齢化など、年々厳しくなってきた。このような情勢のもとで孤軍奮闘している中核農家や受託農業者、研究グループに対して、今一歩踏み込んだ補助政策を強く要望する。

入善町の農業の今後のあり方、町の役割というような将来計画に対する指導面が欠けているように思える。

土地改良事業

債務負担の増大は好ましくないというところは理解できるが、高率の国庫補助事業を有効に活用して環境整備を図ることも町の重要な任務である。

▼道路の舗装整備
道路は地域住民の生活に密着し、公共性が高いことは言うまでもない。道路は舗装されているものという概念があり、舗装のアンバランスが町政に対する不満となっている。

道路舗装に対する基本的な計画がないため、行政としての一貫性に欠けており、県や土地改良区とも充分連絡をとって、今後の道路整備の基本計画を作成されたい。

教育環境の整備

入善小学校は総額十五億五千万円、三ヶ年継続事業で行われ、九月から新校舎で授業が始まっている。一方で木造校舎があと四校残っており、これらの改築計画と真剣に取り組んでほしい。また、改築されるまでの間、近代的な学校との教育格差が起きないように充分に配慮する必要がある。

国民健康保険

六十三年度末の国保被保険者数は八千四百四十四人で、前年より約二百人減少しているが、加入者の高齢化、低所得化が進んでいる。被保険者一人当たりの税額は県平均より約二百六十円高くなっており、税負担の限界のように思える。医療費の伸びを抑えるために日帰り人間ドックやヘルスパイオニアタウン事業を通じて健康増進や予防医療のPRに努力してほしい。

物足りない施設整備

町内の現地調査では、国指定の文化財である沢スギ、じょうべのまの現況に物足りなさを感じた。完成間近のみず公園にしても「水のまち入善」のイメージを飛躍させる切札としては疑問が残る。

数少ない資源を大切に、魅力あるものとして発展させていくためにはどうすればよいか。セクションをはなれ、すべての職員が一丸となって英知をしぼり、創意と工夫を働かせながら、町民の信頼と期待に応えるように、いっそうの奮起を切望する。

町政に対する

5議員

登壇

一般質問



▲富山県内で初の屋内ゲートボール場（老人福祉センター内）

天に星 地に花 人に愛

人類の求める偉大な指標

早川 誠一 議員（自民）

問 入善町合併以来初めての無投票選挙で選ばれた町長と町議会議員によって四年間の町政が運営されてきた。ある面では、その重大さ

が問われ、また、ある面では町政への無関心さも問われるものであったと思う。

また本年は明治二十二年に入善町が誕生してから百年を迎え、そ

の記念すべき年に議員として在職できたことは生涯の思い出である。

迎える時代は国際色豊かな二十世紀であり、町長三選出馬に当たって、これからの町政運営にかける意気込みを聞きたい。

「天に星、地に花、人に愛」この言葉は人類の求め続けた偉大な指標かと思う。

私の議員生活最後の質問であり、心ある言葉をちょうだいしたい。

先見性と柔軟性 行動力が求められる

町長

二十一世紀に到来する新しい時代は、高度情報化社会、高度知識集約型の産業社会、高度高齢化社会の三つの要素が課題になるもの

と思う。

行政に携わる者は、この時代の流れの中にあつて、先を見通す先見性、柔軟な発想、果敢な行動力が求められていると考えており、これを基盤として新しい入善町を創造していくことが一つの方向づけでないかと認識している。

今考えているビジョンとしては第一に都市基盤の整備と産業発展を展望した町づくり、第二に入善町の資源を生かし、個性を磨く誇りのある町づくり、第三に町民が生きがいと安心をもって暮らせる希望のもてる町づくりの三点を考えており、引き続き町政を担当する機会があれば、積極果敢にこれらのテーマの解決のために全力を尽くしたい。

町政八年間を総括

一部の停滞論にどう応える

本多 幸男 議員（清新）

問

町長は昭和五十六年に初当選され、就任早々、県下に先駆けて情報公開に踏み出され、政治信条とされる、主権者は町民、清潔公正、ガラス張りの町政に向けて先頭に立って政策を推進されたと理解し

ている。反面、町民の一部の声として 柿木町政は停滞しているという意見を耳にすることがあるが、二期八年の足跡をどのように総括しているか。

他に負けない自信

町長

町長就任以来、公正なガラス張りの町政を念願しながら、情報公開制度の制定を始めとして、ソフト面では町民憲章の策定、フォーレストグループ市との友好都市締結、町史の編さんなど。ハード面では、生涯教育の場としての町民会館を筆頭に学校や保育所、老人福祉センター、屋内ゲートボール場の建設、道路や公園の整備などに精力的に取り組んできており、町民のみなさんの理解を得ながら他の町村に負けないだけの町政を行ってきたと自信を持って言える

常に先を読む

問

二十一世紀は目前であり、新しい世紀への基礎を築くためにも活力とうるおいは不可欠である。そのためには今まで以上に時代の先端を読む、町民ニーズの先取りということが肝要になると思う。将来の自治体はどうあるべきかという観点から、町長三選出馬の抱負を聞きたい。

21世紀への計画策定

町長

これからの町の課題としては、商業の活性化や市街地の再開発とも大きく係わりのある中央通り線

の改良事業を始め、総合体育館や温水プールの建設、未改築の小学校の整備、高齢化や生涯教育の問題、高等教育機関の整備など、数多くの課題を抱えている。

これらを計画的に進めるために財政的に裏打ちをされた、二十一世紀へつなぐかけ橋としての総合計画の策定が極めて重要だと理解している。

過去の歴史を振り返りながら、現状の分析を行い、将来の展望に立った町づくりを基本に、町民参加の町政、開かれた町政、計画町

政をモットーとして今後も全力を尽くしたい。

税にも経営的感覚を

問

過去五年間の町民総所得と税収の動向から見ると、入善町の財政健全度をどのように分析しているか。自主財源の根幹である町税収入の安定確保のためにはどうあるべきか、これからの税務行政にも経営的感覚を備えるべきだと思ふ。単に数字をつかむだけでなく、

税金確保に欠かせない健康な働き手

町長

個人所得の合計は五十八年度で二百四十九億九千九百万円、六十三年度三百四億三千九百万円、五十四億四千三百万円の増、二十一・八度の伸びとなっております。これを基にする町民税は二十八・五増の九億八千二百万円となっております。また、固定資産税や電気税などを加えた町税全体では、五十八年度十八億七千万円に対して六十三年度は二十六億四千七百円、四・四の増です。

これは景気回復による所得の増と雇用の場拡大に伴う事業者の増加によるものであり、企業の安定した経営基盤と健康で定着した働き手が自主財源確保に欠かせない要素である。

町の財政力も着実に伸びており、税率や手数料を上げることなく、公平な課税と負担を基本として魅力ある町づくりのために事業部門とも連絡を密にしていきたい。

若者が戻ってくる魅力ある町づくりを

問

過去五年間の就業人口の動きは

どのようになっているか。

町内で安心して働ける安定企業の確保という立場から、今後の雇用拡大と労働力定着のための環境整備方針を聞きたい。

働く職場、住居、レジャー、ショッピングなどの環境を整え、若者が都会からUターンしてくるような魅力ある町づくりを具体的に示すことができたいか。

アサヒビール進出を期待

町長

町内には現在百二十八社の製造業を営む事業所があり、四千五百五十五人の方が働いておられ、五年前よりも三社、百二十人が増えています。

そのうちの主な十六社では、昭和五十九年度の従業員約三千四百人に対して町内在住者は約六割の二千八、平成元年度では約三千七百人のうち二千四百人と増加しており、若者のUターン現象が進んでいると思つていて。

どの企業も人員確保に苦労しているが、大卒者の採用は少ない。若者を定着させるには企業の誘致が最も有効であり、アサヒビールの進出に最大の努力をしている。雇用の拡大とその環境整備は町の将来を占う重要な課題であると認識しており、平成二年度には雇用促進住宅の建設、三年の秋には地元商店街主導型ショッピングセンターのオープンをめざして土地交渉を進めている。



▲自然と勤労の精神を中心とした町民憲章碑（役場前）

非核平和宣言文の修正

— 町長の姿勢を問う —

九里 郁子 議員 (共産)

どんな内容かが問題

町長 根本的な問題は、議会においてどのような内容のものが決議されたかということが重要なのであり、PRの手段として、記念像を本町出身の名取川さんのご協力で建て

問 非核モニユメントの碑文に議会が全員一致で採択した宣言文が修正されて刻まれている。碑文は後世に残るものであり、なおすべきである。
議会制民主主義に對して町長はどのように考えているか。

たもので、碑文は議会の決定とは必ずしも一致していない。よいのではないか。碑文の内容変更については、事前に議会の皆さんに連絡が不十分だったことについて、議員全員協力の冒頭でお詫びしたところである。

再質問

議会制民主主義を尊重されなかつたこと、碑文がそのまま後世に残ることが問題である。議会の権威と名譽のため、改めて強調したい。

原水協の文章をじっくりお読みになれば、いかに内容が変えられなかがよくわかると思う。

今こそ消費税廃止を

問 消費税をきっぱり廃止し、将来とも導入を許さないとの国民の願いを実現するため、また、町財政をも圧迫する消費税の廃止を、今こそ強く求めていくべきではないか。

国会で充分論議を

町長 消費税は、町長の規定で決まるものではなく、国会で決められたものであり、法律に従って町が負担していくのは、やむを得ない。さきの参議院選挙の結果は十分理解している。納税というものは国民の大きな義務であり、国会で充分論議していただきたいと考え

ている。

再質問

町営住宅の家賃の問題など、全国的に消費税の賦課にちゅうちょしている自治体が増えつつある。町も検討をすべきである。

コメの自由化阻止宣言を

問 基幹作物である米を守るために輸入自由化に反対するのは当然である。本町の十アール当たりの取引量は農家の皆さんの努力により、県内一位である。今こそコシヒカリを守るため、「コメの輸入自由化阻止宣言」を行ってはどうか。コンバイン、ガラスハウスに對しての課税を廃止し、農業を守るため積極的な対応をしていただきたい。

議会での決議に賛成

町長

農業は町の基幹産業と位置づけられており、できるだけ予算措置や行政の対応をしている。コメの輸入自由化阻止という決議を議会で作されることについては私は賛成である。当局が提案する必要があると思う。コンバインに對する課税の問題は、県内でも最後に近いくらいで課税に踏み切っている。ガラスハウスの課税は税法に従って課税しており、隣接市町並みとおっしゃることは理解できない。

国保税の引き下げを

問

国民健康保険税は高過ぎる。国保会計をみると、六十三年度は、

今後の動向見きわめて

町長

元年度当初予算の編成に当たり、被保険者一人当たりの医療費の伸びを七・二パーセントと見込んでおり、全税率を据え置いたところである。

国保税を一万円引き下げると町民の皆さんに約束しておいたのだが、保険税については、県下八位であったものが、六十三年度では九位になり、平成元年度では十三位に下がっている現実を見きわめていただきたい。

ふれあい温泉の充実を

問

地形的に入善町の南部に位置するふれあい温泉を老人福祉センター的に考え、バスの巡回や設備の充実に積極的に取り組む考えはないか。

売店・食堂は 前向きで検討

町長

委託をお願いしている舟見寿菜苑とも連絡をとり、十分対応していきたい。カラオケなどの設置は静かに静養する場であり、置か



▲入善産のコシヒカリの刈り取り (小摺戸地内)

ない方がよいのではないか。売店や軽食堂などは、補助金を受けている関係で規制もあり、連絡をとりながら、前向きで検討したい。巡回バスは、一台買うことになる

と、運転手の確保や公衆浴場組合との問題もあり、充分検討させていたきたい。町内巡回については、地鉄バスをお願いすることも考えている。

当初の見積りが安易

入善小学校の外構工事

佐藤学英議員（自民）

決算特別委員会の現地調査で指

総合計画のローリング時では、財政事情から、四千二百万円の圧縮はやむを得なかった。

間
達されていたが、入善小学校のランテルームに発生したクラック（ヒビ割れ）の原因はどこにあるのか。今後さらに発生、拡大する恐れがないのか。対応をどう考えているのか。

外構工事予算が三倍に上がったことは事実であり、今後の予算計上の参考として、反省している。学校裏の基平用水と南部保育所の外周水路の改良も残されているので、学校関係の予算と関係なく、土木関係予算として取り組んでいきたい。

建設事業計画では外構工事に当初四千二百万円計上されており、これが変更計画で一億二千六百七十万円、約三倍の八千四百七十万円の増となっている。当初から安易な見積りでなかったか。

都市計画課長
ランテルームのクラックについては、コンクリートは生きものと同じで、乾燥並びに収縮によってクラックができる場合、熱膨張によってできる場合があり、これは熱膨張により起きたものと思われる。これは膨張計数の許容範囲内では発生しないものと思われ、今後

当初予算は 財政事情で圧縮

教育長

当初、校舎の位置も決定しない時点でもあり、あくまでも概算見積りとして取り組んでいた。また

の暖房にも影響がないと思う。財政課長

建設費に絡んでの財源の変更は補助車庫の大幅な見直し、改定等により大幅に補助金がアップされたためである。

再質問
三日間お湯を通した試験で一本の亀裂が発生した。今後、冬期間暖房することになるが、さらに拡大する恐れはないか。西中あたりでも亀裂が生じていると聞いています。今後発生する恐れはないか。

都市計画課長
コンクリートというものは、十万分の一の伸び縮みがある。今後の暖房には影響はない。

また、保証期間が一年あるので対処したい。

新設校と在来校の 教育格差に疑問

間

在来校の施設充実と教育環境の格差の是正、改善に疑問を感じている。

また、子供の将来を考えて、統合するのか、移転すべきか、早急な結論が待たれている。

横山小の講堂は雨漏りで無数のシミだらけ、天井は低い中で夜間開放され、地区民の利用も高い。ミニ体育館の建設ができないか。入善中学校のグラウンド整備、第二グラウンドの構想なども総合計画で取り組んでいただけるか。

学校統合は 十分な討議で結論

町長

横山、横山小学校の統合問題については、地形的に見ても幾つかの大きな問題がある。教育問題懇談会等で十分討議していただき、方向づけをしたい。

横山、横山小学校については、天井が低いのが事実であり、体育の授業にも悪い状況である。

統合の問題は別として、体育館だけを新しく建設することも考えられ、それが地域の社会体育館的な性格として残るわけで、無駄な投資ではないと思う。

入中第二グラウンド 新総合計画で

教育長

木造校舎の今後の対応については、学校間の格差が生じないよう施設の維持、修繕や、備品などの充実に努めていきたい。

ミニ体育館の建設については、今後の教育問題懇談会の進み具合により、総合的に検討してまいりたい。

入善中学校グラウンド排水施設の整備については、考慮している。北側校舎棟の雨漏りは修理したい。第二グラウンドの新設は新しい総合計画の中で検討していきたい。



▲昭和7年に建築された們山小学校

水の汚れは台所から 水洗トイレ以上の影響

広瀬喜代志 議員 (自民)

問 水洗トイレにする場合、下流の部落や区長の同意が必要であり、個人であればスムーズに同意がいただけるが、業者が行くと村で相談か拒否である。いかなる理由で同意を得るよう指導しているのか。また、合併浄化槽に対し補助金を交付して普及しようとしているようだが、これからも指導するのか。

東京湾の汚れのうち工場等からのものは三割、残り七割は家庭からの排水によるものとされており、生活雑排水の影響は水洗トイレと

この問題ではない。また、生活排水の中でも最も汚れているのは台所からのもので、その中でも影響の大きいのは食用油である。生活汚水に関してお互いに勉強し、早急に対策を立てるべきであろう。

下水道整備が課題

町長 住宅排水の問題はこれからの町

の大きな課題である。下水道が整備されれば、ある程度解決されると思うが、長い期間と莫大な予算が必要である。

建設省サイドの本格的な下水道のほかに、農林水産省は農村の環境整備をする理由で農村下水道、厚生省は合併処理槽を提唱しており、水の浄化の問題にもいろいろな手法があるので、町の実態を十分把握し、それぞれの地域にあった下水道マップを作ることが先決だと考えている。新しい総合計画策定の中で、水の問題、下水道の問題等について根本的な解決策を研究していかなければならないと理解している。

環境保健課長 浄化槽は汚い水を流すという觀念があるため、事前に放流先の同意を求めているのが実態である。合併浄化槽は下水道並みの浄化能力があるということで、町が補助金を出して普及を進めており、厚生省段階では、きれいな水を出すのだから放流先の同意の必要はないと指導している。しかし、放流先の河川は全部農業用水であり、管理

は土地改良区が行っているもので、そこへの届け出は必要だと思える。一番汚れるのは生活雑排水だということ、テレビ、新聞等でも取り上げられているが、町としても合併浄化槽の補助制度と合わせてPRし、住民の皆さんの理解を得たいと考えている。

バキューム車95台分

一日当たりのし尿処理量

問 新川広域圏中部清掃センターの一日の処理能力は百五十五台で、町への割り当ては三十四・二台でバキューム車九・五分と聞いている。浄化槽が普及してきているが、現在の設置数と清掃実績を示してほしい。また、黒部市や魚津市の下水道事業が供用開始されると中部清掃センターにどのような影響があるか。

浄化槽普及率は37%

環境保健課長

し尿処理の件数は八千三百十件で、そのうち汲み取りは四千百十一件、自家処理が一千百二十二件、浄化槽は三千六十七件で三十六・九割を占めており、毎年大体二百基ぐらい増えている。しかし、生し尿の収集量は減らないのが実態である。

中部清掃センターへの持ち込みは、生し尿を優先に、盆、年末に集中しないよう計画的に収集し、その間に浄化槽の清掃を行っている。川の水をきれいにするには、浄化槽清掃率百割であれば問題がないが、清掃センターの能力にばいり状態であるため、少し遅れぎみだが、順次清掃するように鋭意努力している。



▲家庭からのゴミは上流から下流へ……………
そして海へ (東五十里地区)

今後、黒部市、魚津市の下水道が供用開始されれば、清掃センターの処理能力に余裕ができたため、割り当て量も増量になると考えている。

94歳が在宅シルバー

問 昭和六十年の調査によると六十五歳以上の方は総人口の十・三割、一千二百四十七万人、そのうち公的または老人施設入所者は二十万人、有料老人ホーム利用者六千七百八十九人、入院中の入居者五十二万人、残りの一千七百七十四万人、九十四歳が在宅シルバーである。

町では六十五歳以上の方の状況について、どこまで把握しているか。入院患者数、施設への入居者数、一人暮らし世帯、在宅のシルバー数や福祉施設への利用状況はどうなっているか。また、平均寿命とは何を根拠に算出するのか。

在宅福祉に重点

助役

町の六十五歳以上の人口は、四千六百三十人、十五・三割で県の十三・九割を大きく上回っており、八十歳以上の方も九百八十名を超え、長寿の町といった感もある。寝たきりの方は七十名、痴呆症状の方十名と把握しているが、実際は二倍から三倍になるのではないかと推測している。一人暮らしの老人は二百二十八名と援護を必要とする老人がふえているので、家庭奉仕員の派遣や自動消火器の

設置、福祉電話の設置を行って
り、万が一に備えて近所に通報する
緊急通報装置も設置したいと考え
ている。

国では在宅福祉の充実に転換し
てきており、デイサービス、デイ
ホーム事業が重要になってくる
と思う。

福祉課長

平均寿命は、人口動態統計と推
計人口を基礎資料として、ゼロ歳
児が何歳まで生きられるかという
年数である。

**笑顔と健康を
増やそう運動**

問

高齢者に笑顔と健康を増やそう
運動を展開することが必要だと思
う。そして、六十五歳以上の方に
笑顔と健康手帳を配布することを
提案する。また、高齢者の方々に
すべてがホームヘルパーであり、保
健婦、訪問看護婦などであるとい
う運動、この意識教育に大いに投
資していただきたい。健康で年齢
に関係なく、世界の大事な一員と
して、大先輩として活躍してい
たくための施策が大切ではないか

**経験や能力を
発揮できる体制に**

助役

高齢者を単に弱者としてとらえ
るのではなく、家族、地域社会の
分野において経験や能力を発揮で
きる体制づくりが重要である。
スポーツ活動や健康づくり活動

社会活動を振興させるために、老
人クラブ活動への助成や社会活動
参加促進事業を継続して行い、老
人クラブ活動の活性化、基盤の充
実を図りたいと考えている。

緊急質問

**今なぜ土曜閉庁
聞きたい心境の変化**

大林政雄議員（自民）

問

土曜閉庁方式については、六十
三年十月に閣議決定され、国との
均衡を保って市町村でも実施され
るよう通達がなされており、富山
県でも二十五市町村が足並みをそ
ろえるよう話し合われた。しかし
町長は六月定例会で時期尚早であ
り、選挙の洗礼を受けた町長、新
議員で審査した方が良いと言明さ
れていた。急転直下、九月定例会
で提案された理由は何か。心境の
変化について聞きたい。

町民本位の町政を

町長

六月の時点では中小企業の実態
などから考えて、できれば新年度
から実施したかどうか。それには
三月議会で提案しても間に合うの
で、十月の改選で新しく選ばれた
方によって審議された方がよいの

環境保健課長

健康手帳については、いろいろ
と工夫をし、健康のお守りとして
肌身離さず持っているような、す
ばらしいものにしたと考えている。

でないかと考えていた。

その後、すでに土曜閉庁を実施
している宇奈月町や朝日町の実態
を聞いたところ、私の予想に反し
て問題はなく、苦情もないとい
ことであり、町民の皆さんに充分
理解されているとの思いを強くし
た。私としては、町民を視点にお
いて町政を執行する気持ちは変わ
っておらず、議会軽視をするつも
りは全くない。

目的が不明確

問

町の条例は国の憲法のようなも
のである。いやしくも入善町の憲
法を定める上において、この休日
を定める条例案には目的がはつき

りして、あまりにも不親切
である。何のために土曜閉庁する
のか。

**週40時間
労働めざす**

総務課長

経済運営五か年計画で示されて
いるとおり、平成四年度までに労

働時間は週四十時間をめざすこと
とされており、それを根拠に人事
院勧告でも完全週休二日制の速や
かな実現に向けて、積極的に検討
するよう指摘されている。

国の土曜閉庁導入に合わせて地
方自治法が改正され、町でも休日
を定める条例を制定して、休日を
はっきり明記することになったた
めのものである。



▲10月から第2・4土曜日は閉庁 役場窓口業務



常任委員会審査報告



総務委員会

委員長 広瀬義孝

三議案を可決

請願二件は不採択

議案第三号の一般会計補正予算の補正額は二億二千三百十萬円で、その財源には地方交付税で四千三百二十萬円、補助事業の確定による国庫支出金の増額分七千八十三萬円、繰越金一億五百七十一萬円、その他の収入として三百二十六萬円が予定されている。

歳出のうち、当委員会付託部分は二千四百五十七萬円で、そのうちのはほとんどが市町村職員共済組合の負担金で、昭和五十七年から六十年までの四年間、行政改革特別法に基づいて、四分の一カットした部分を復元するもので問題はなく、全員一致で可決すべきものと決した。

PRの徹底を

土曜閉庁の実施

議案第三四号の入善町の休日と定める条例の制定と議案第三五号の入善町職員の勤務時間に関する条例の一部改正は、土曜閉庁導入のための条例整備であり、内容については全く異論がなかった。県下で実施されていないのは人

善町と下村を除く七村のみであり運過ぎた感もある。町長は六月議会で時期尚早であり、十月の選挙の洗礼を受けた新議員と新町長で協議された方が良いと言明された。それが一転して今回の提案となった真意はどこにあるのか。町長のスタンドプレイでないか、という意見も出されていた。なお、実施に当たっては、住民サービスの低下にならないように、窓口の事務処理は迅速、的確に、住民に対する周知徹底すること、閉庁とならない学校や保育所などの今後の方向づけについても充分に検討するよう意見を添え、全員一致で可決すべきものと決した。

消費税廃止は不採択

請願第七号及び第八号の消費税法の即時廃止を求める意見書採択についての請願は、八月八日の臨時議会で消費税の抜本的見直し措置に関する意見書採択し、政府や関係機関へ送付したばかりであり、現在、国においても見直しについて積極的に取り組んでいるところなので、廃止の案は見送るべきとし、この請願二件は賛成少数のため、不採択すべきものと決した。



▲大会になると道路が駐車場に（運動公園）



文教厚生

委員会

委員長 板川清治

運動公園山側に 百五台分の駐車場

議案第三三号の一般会計補正予算中、当委員会への付託部分は四千七百九十萬円である。このうち民生費では、上原保育所の屋根の防水工事費のほか、飯野保育所の便所修繕、門山保育所の結露防止のための修繕費が計上されており、これは一刻も早く対応しなければならぬ。環境衛生費では町新屋の簡易水道の整備工事費、教育費では邑町公民館改築補助金が計上

外構工事が大幅に増

入善小学校建設工事

入善小学校建設費の継続費補正は、外構工事の当初計画四千二百万円に対して、変更計画では一億

されているが、それぞれ、町の補助金交付要綱で定められた補助金であり、問題はない。保健体育費では運動公園整備事業費として一千四百三十萬円計上され、運動公園山側の外周道路沿いに百五台分の駐車場を整備されることになり喜んでもらえるものと思う。

二千六百七十万円、八千四百七十万円もの大幅な増額となり、元年度分として二千百万円の増額分が計上されている。

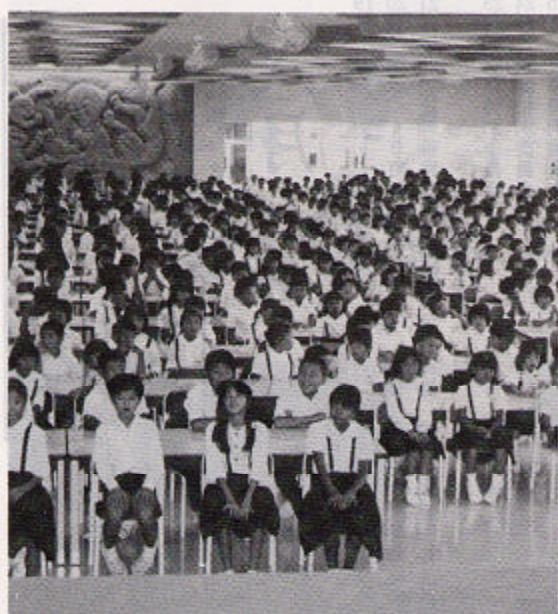
審議の過程では、住宅に密集した町の中に立地する学校という特殊性から、文化施設であると同時に、地域住民にとって迷惑施設ともなり得るということも指摘されていた。建設工事に伴って、校舎南側の住宅が利用していた排水路が埋められ、ポンプアップをして排水をしているということであり、本格的な工事ができないとすれば仮設でもよいから十二月までに対応するように、強い意見が出されていた。

以上の意見を添えて、議案第三号の当委員会付託部分は全員一致で可決すべきものと決した。

請願は継続審査

ふれあい温泉の整備

請願第六号のふれあい温泉の施設、設備の充実を求める請願は若干問題がある。請願の中味を見ますと、個人的には各委員ともすべて賛成であるが、事業主体が舟見寿楽苑であり、町がどこまで介入できるかが大きなネックになっている。また、地域交流ホームとしての補助金をもらっているために売店、食堂などの営利施設は設置できないことになっているということであり、巡回バスは個人の浴場経営者に対する影響が懸念される。このため住民からの切なる要望であつても、できるものではないものをはっきりさせるべきだということ観点から、町でできる範囲



▲ランチルームでの集会 入善小学校

産業建設委員会

委員長 白又正司



のものについては積極的に取り組むよう意見を添えて、この請願はさらに慎重に検討すべきものとして継続審査とした。

農業の振興に活力

産業建設常任委員会に付託された議案一件、請願一件についてはいずれも全員一致で可決、採択すべきものと決した。

議案第三号の一般会計補正予算のうち、当委員会に付託された予算額は一億五千六十一万七千円、これらのほとんどは国県補助金の増額内示による補正である。農業振興面では、畜産活性化対策として牛舎建設などに充てる二千六百八十万円を始めとして、大豆コンバイン導入に二百万円、キャベツ組合の防除機導入百万円などが計上されており、低迷している農業の振興に活力を与えるものと期待している。また、農地関



▲今年は大盛況……ふるさと川まつり

道路整備に積極的な取り組みを

ながら、運営に最善の努力を要望する。

係では要望が高い道路舗装や水路整備に二千万円が計上され、さらに、農村基盤総合整備事業には三千三百万円が増額、防潮林造成のための用地購入費として一千万円計上されるなど、補助金獲得に努力された姿勢がうかがわれ、評価したい。なお高率補助事業の獲得について、今後とも町当局の特段の努力を要望する。

昨年の教訓忘れずに

ふるさと川まつり

水産関係では、ワカメ栽培養殖漁場整備として町単で三十万円計上されているが、近海漁業の不振に伴い、栽培養殖にも助成し、力を入れることは時宜を得たもので、ふるさと一品運動、町の特産品として売り出すことに期待したい。町民ふれあい川まつりの補助金として五百万円が計上されているが、昨年の二の舞とならないように商工会等と充分に連絡をとり

土木関係では、国道バイパス建設促進期成同盟会の補助金が増額となっているが、八号線の現道拡幅部分やその他の地域についても建設省におまかせの態度ではなく、コースをどうすればよいか、積極的に町の意見を具申し、早期実現に向かって努力してほしい。さらに、都市計画道路中央通り線の促進についても積極的に取り組み住民からの要望も充分に取り入れられるよう努力を期待する。

請願第六号、県営土地改良総合整備事業（上原地区）の新規採択については、債務負担の問題など町財政を心配する意見もいろいろ述べられたが、地域住民からの強い要望もあり、採択すべきものと決した。

議会

日誌

十月

八月

- 19日 米サミット (町民会館)
- 20日 健康づくり町民のつどい
- 21日 北陸新幹線建設促進同盟会
総会 (東京)
- 23日 決算特別委員会 (東京)
- 24日 決算特別委員会
- 25日 決算特別委員会
- 29日 平成二年度事業に対する陳情 (県庁)
- 29日 決算特別委員会行政視察研
修 (石川県志賀町)
- 1日 北海道雨竜町開基百年式典
決算特別委員会
- 2日 決算特別委員会
- 4日 議会運営委員会
新川広域圏事務組合視察 (黒部市)
- 5日 富山県総合防災訓練 (魚津市)
- 6日 議会議員研修会 (富山市)
- 7日 黒部川治水同盟会総会
第二十七回議会定例会 (提案理由説明)
- 8日 議会運営委員会

- 8日 決算特別委員会
- 9日 西部保育所起工式
- 11日 議会定例会(一般質問)
- 12日 総務常任委員会
産業建設常任委員会
- 13日 文教厚生常任委員会
- 14日 議会定例会(各委員会報告、
討論、採決)
- 25日 東京入善会 (東京)
- 28日 入善町社会福祉協議会
町村議長会理事會 (大山町)

- 10日 町長・町議会議員選挙告示
- 15日 町議会議員選挙投票日
- 20日 黒部川治水同盟会理事會 (宇奈月町)
- 21日 ふれあい川まつり
- 22日 同 右
- 21日 入善町防火大会
- 23日 三重県小俣町議会文教厚生
委員会行政視察来町
- 26日 舟見寿楽苑ショートステイ
専用施設起工式
- 福岡県筑紫郡那珂川町議会
総務委員会行政視察来町



▶決算特別委員会先進地行政視察(石川県志賀町体育館)

教育委員に 前田郁子氏

9月30日で任期満了になる教育委員の前田郁子氏を引き続き再任することに同意した。

虚礼廃止

九月七日の議会全員協議会で、次のとおり申し合わせました。
近年、政治に対する国民の不信任が高まり、国、地方に問わず、政治に携わる者に対して強く自戒を求められているところである。

入善町議会は、ここに町民の代表であることを深く認識し、厳しい倫理意識のもとに公職選挙法の精神を再確認し、従来にも増して虚礼廃止を徹底した清潔な議員活動を行い、より一層町民の負託に応えていくことを表明する。
町民各位の御理解と御協力をお願いするものである。
以上、申し合わせする。

平成元年九月七日
入善町議会

編集後記

★現議員の任期最後の九月定例議会の内容をお知らせしました。
★この議会を最後に勇退される上野幸一氏、西尾三郎氏、早川誠一氏の三議員には、長い間、町政のためご尽力を賜り、感謝申し上げます。今後とも本町発展のため、ご指導、ご協力をお願いいたします。

★十月十日に告示された選挙で町長は二期連続の無投票当選を果たされ、任期中日の十八日に初登壇されました。

議員は二十二名が立候補し、八年ぶりの選挙の結果、投票率は九十二・〇八で前回より少し低かったようです。

新議員二十名の任期は十月三十日からですが、日程の都合で組織議会は十一月にずれ込みそうです。

★この選挙を前に、議会では上記のとおり虚礼廃止を申し合わせました。

年末年始を控えて諾合が多くなる時節ですが、議員一同、初心に帰り、身を引きしめて町政発展に尽くす覚悟ですので、町民各位のご理解をお願いいたします。

議会だより編集委員

- 石川 昭男 白又 正司
- 池原金与志 本田 幸光
- 広瀬 義孝 佐藤 学英
- 板川 清治 九里 郁子